

## 令和4年度川連協イベント第3弾、早春の日帰りバス旅行のご案内

(早春の“梅の香り”と“芸術”に触れる旅)

- 行 先 水戸偕楽園（梅林）～笠間稲荷神社～笠間芸術の森公園
- 催行日 令和5年（2023）2月28日（火）
- 集合場所 ウェスタ川越
- 集合時間 8：00（時間厳守）
- 行程概略 川越IC（高速経由）～水戸IC～偕楽園（梅林散策・鑑賞）～昼食（偕楽園周辺の店）～笠間稲荷神社（参拝）～笠間芸術の森公園（県立陶芸美術館・笠間工芸の丘）～友部IC（高速経由）～川越IC（ウェスタ川越にて解散）
- 会 費 ￥8,000（昼食込）程度を予定（参加人数により変化あり）。  
会費は各期でまとめ、1月末迄に川連協口座へ振り込みをお願いします。
- 申込期限 各期でまとめて、12月20日（火）までに、担当の丸田へ連絡。
- その他
  - ・参加人数によっては中止となることがあります。
  - ・バスでの座席は、通常の2人掛けに2人着席での運行になります。
  - ・コロナウィルスの感染拡大状況によっては中止となることがあります。
  - ・通常の雨天では催行いたします。
  - ・また当日、発熱等体調不良の方は参加を取りやめてください。（要連絡）

-----

- ◎偕楽園 金沢の兼六園、岡山の後楽園と並ぶ「日本三大名園」の一つで、天保13年(1842)水戸藩9代藩主徳川斉昭によって造園され、約1百品種3千本の梅が植えられていて2月中旬から3月中旬の「梅まつり」で賑わう。
- ◎笠間稲荷神社 日本三大稲荷（伏見稲荷・豊川稲荷）の一つに挙げられ（諸説あり）、大半の稲荷社が祀っている宇迦之御魂神を主祭神としている。社伝によると創建は、孝徳天皇の白雉2年(651)に胡桃樹の下に建てられたといい、別名胡桃下稲荷ともいう。10月中旬から11月下旬にかけて神社を中心に行われる「笠間菊祭り」が有名である。
- ◎茨城県立陶芸美術館 「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマとし、人々が気軽に立ち寄れる美術館として平成12年(2000)に開館した。国内の優れた作家の作品や県内陶芸の秀作を所蔵している。中でも陶芸家として初めて文化勲章を受章した板谷波山と、重要無形文化財保持者（人間国宝）の松井康成の常設コーナーは必見である。
- ◎笠間工芸の丘 広大な笠間芸術の森公園内にあり、敷地内には笠間焼の登り窯の展示や、焼き物制作の体験教室、作家達による陶芸品の展示、また笠間焼等の工芸品、茨城の特産物等の土産物を販売するクラフトショップ・カフェ等があり、アートな空間を満喫できる。